

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライニング・ファンドへの投資を通して、世界の不動産関連証券を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主として世界の不動産投資信託(REIT)および不動産関連株式に投資し、長期的に安定した信託財産の成長を目指します。
- ② 配当収入と証券の値上がり益の獲得による、トータル・リターンを最大化を追求します。
- ③ 良好な立地条件、優れた経営体制、強固な財務基盤を備えた不動産関連企業を選定し投資します。
- ④ 原則として四半期に一度分配を行います。ただし、将来の分配金の支払いおよびその金額を保証するものではありません。

当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リアルエステート・ファンドです。

ファンドの仕組み



ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド

ファンドの概要

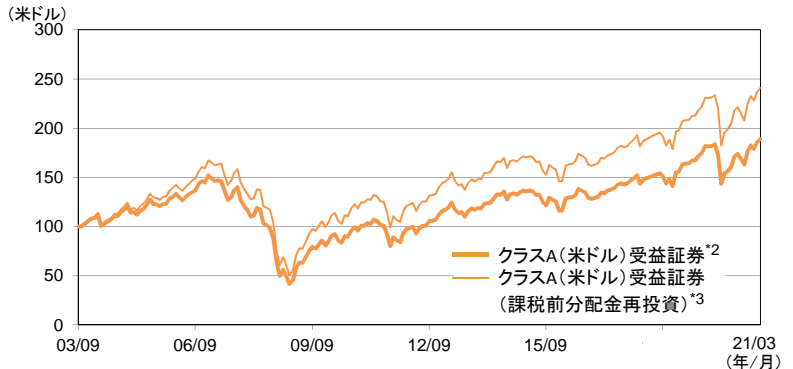
|         |            |
|---------|------------|
| 運用開始日   | 2003年9月30日 |
| 純資産総額*1 | 64百万米ドル    |

1口当たり純資産価格\*2

|               |           |
|---------------|-----------|
| クラスA(米ドル)受益証券 | 188.90米ドル |
|---------------|-----------|

1口当たり純資産価格の推移

運用開始日前日(2003年9月29日)から2021年3月31日まで



1口当たり純資産価格の騰落率\*3

|               | 1か月間  | 3か月間  | 6か月間   | 1年間    | 3年間    | 運用開始来   |
|---------------|-------|-------|--------|--------|--------|---------|
| クラスA(米ドル)受益証券 | 1.80% | 3.65% | 11.84% | 32.08% | 28.80% | 141.12% |

1口当たり課税前分配金実績\*4

| 2021年2月28日現在  | 20年5月   | 20年8月   | 20年11月  | 21年2月   | 分配金累計    |
|---------------|---------|---------|---------|---------|----------|
| クラスA(米ドル)受益証券 | 0.10米ドル | 0.10米ドル | 0.10米ドル | 0.10米ドル | 27.55米ドル |

\*1 純資産総額は、クラスA(米ドル・円)受益証券の純資産総額の合計です。

\*2 1口当たり純資産価格は管理報酬およびその他の費用控除後の値であり、購入手数料は含まれていません。

\*3 1口当たり純資産価格の騰落率および1口当たり純資産価格(課税前分配金再投資)は、管理報酬およびその他の費用控除後の1口当たり純資産価格に課税前分配金を再投資したものととして算出しており、購入手数料は含まれていません。

\*4 2004年2月より分配開始。直近1年分の分配金について、小数点以下第3位で四捨五入して表示しています。「分配金累計」は運用開始からの累計です。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

当ファンドは、直接的な投資先であるアンダーライニング・ファンドを通して値動きのある証券等に投資します(外国証券等に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)ので、純資産価格は変動します。従って、元本が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ヘンダーソン・マネジメント・エスエーが作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。投資信託のリスクやお申込みメモの詳細については、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

管理会社

ヘンダーソン・マネジメント・エスエー

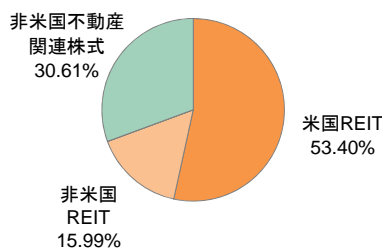
ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リアルエステート・ファンド(アンダーライニング・ファンド)

ファンドの概要

|         |          |
|---------|----------|
| 純資産総額   | 245百万米ドル |
| 保有銘柄数   | 59銘柄     |
| 年率配当利回り | 3.05%    |
| 現預金等比率  | 4.08%    |

種別構成比率

対組入株式時価総額



国・地域別構成比率 対組入証券時価総額

|         |         |
|---------|---------|
| 米国      | 53.40%  |
| 日本      | 9.23%   |
| 中国      | 7.65%   |
| ドイツ     | 6.46%   |
| 香港      | 5.23%   |
| 英国      | 4.78%   |
| オーストラリア | 3.34%   |
| シンガポール  | 3.14%   |
| スウェーデン  | 1.62%   |
| その他     | 5.15%   |
| 合計      | 100.00% |

通貨別構成比率 対組入証券時価総額

|             |         |
|-------------|---------|
| 米ドル         | 53.41%  |
| 香港ドル        | 12.88%  |
| ユーロ         | 10.85%  |
| 日本円         | 9.23%   |
| 英ポンド        | 4.78%   |
| オーストラリア・ドル  | 3.34%   |
| シンガポール・ドル   | 3.14%   |
| スウェーデン・クローナ | 1.62%   |
| インド・ルピー     | 0.75%   |
| その他         | -       |
| 合計          | 100.00% |

REIT組入上位5業種<sup>\*1</sup> 対組入株式時価総額

|          |        |
|----------|--------|
| 工業用REIT  | 22.32% |
| 住宅用REIT  | 14.95% |
| 専門REIT   | 9.41%  |
| 各種REIT   | 7.19%  |
| オフィスREIT | 5.75%  |

組入上位5銘柄 対組入株式時価総額

| 銘柄                                      | 国名 | 業種 <sup>*1</sup> | 比率 <sup>*2</sup> |
|---|----|------------------|------------------|
| プロロジス                                   | 米国 | 工業用REIT          | 6.39%            |
| VICI・プロパティーズ                            | 米国 | 専門REIT           | 3.80%            |
| サン・コミュニティーズ                             | 米国 | 住宅用REIT          | 3.66%            |
| アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ <sup>*</sup> | 米国 | オフィスREIT         | 3.51%            |
| 三井不動産                                   | 日本 | 各種不動産事業          | 3.13%            |
| 合計                                      |    |                  | 20.49%           |

\*1 業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づきます。

\*2 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

運用コメント

**【市場概況】** 3月の世界のREITおよび不動産関連株式市場は上昇しました。月初は、米国の長期金利が上昇したことが嫌気されて下落しましたが、月半ばにかけては米国で追加経済対策法案が成立したことや、欧州中央銀行(ECB)が資産購入のペースを速めることを表明したことを受けて反発しました。月後半は、米連邦準備制度理事会(FRB)が量的緩和政策を長期間維持する姿勢を示したことや、欧州の経済指標が改善されたことは好感されましたが、米国で引き続き長期金利が上昇傾向にあることや、欧州で新型コロナウイルス感染が再拡大していることなどから、冴えない展開となりました。国・地域別では、ブラジルやタイなどが上昇した一方、トルコやロシアなどは下落しました。業種別では、ヘルスケア施設や住宅用REITセクターなどが上昇した一方、ホテル・リゾート・クルーズ船や不動産サービス・セクターなどは下落しました。

**【運用概況】** 3月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。国・地域別では、米国や英国などがプラスに寄与した一方、ケイマンや香港などはマイナスに影響しました。業種別では、工業用REITや住宅用REITセクターなどがプラスに寄与した一方、インターネットサービス・インフラストラクチャーや不動産開発セクターなどはマイナスに影響しました。

**【運用方針】** 新型コロナワクチンの接種開始は、経済正常化への期待を後押ししそうです。ただし、今後は市場の構造的変化の影響を受けて、セクター間における利益成長の差がパフォーマンスに反映されると見ており、投資にあたっては、すべてのセクターが同じペースで正常化する訳ではないということ念頭に置く必要があると考えています。当ファンドでは、新型コロナウイルス危機の下でも構造的成長を遂げている業種に注目すると共に、株式市場の下落により影響を受けた銘柄の中から、割安でありながら持続的な成長性が見込める銘柄を選別することにも注力しています。REITおよび不動産関連株式は他の資産との相関が比較的低く、資産分散の観点からも魅力的です。現時点では、多くの銘柄が資産価値に対して割安な水準に留まっていることから、長期的な投資家にとっては質の高い銘柄を本来の価値よりも割安で購入する好機であると考えます。また、不動産にはインカム面からの需要も継続すると見ています。今後も徹底したボトムアップ・リサーチにより、魅力的な投資機会があると考えられる銘柄に投資していく方針です。

上記運用コメントは、実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により、上記運用方針が変更される場合があります。

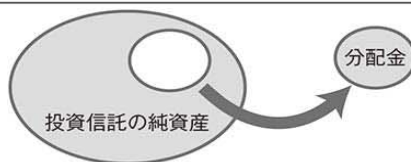
当ファンドは、直接的な投資先であるアンダーライニング・ファンドを通して値動きのある証券等に投資します(外国証券等に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)ので、純資産価格は変動します。従って、元本が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ヘンダーソン・マネジメント・エスエーが作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。投資信託のリスクやお申込みメモの詳細については、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

収益分配金に関する留意事項

[収益分配金に関する留意事項]

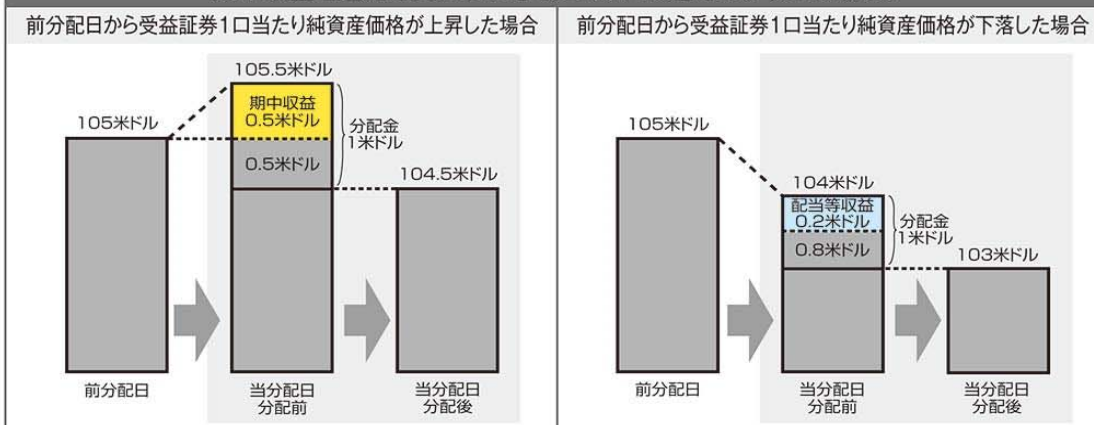
投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、受益証券1口当たり純資産価格は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



一般的に、分配金が分配期間中に発生した収益(配当等収益、評価益および実現した純譲渡益の合計をいい、以下「期中収益」といいます。)を超えて支払われる場合、当分配日の受益証券1口当たり純資産価格は前分配日と比べて下落することになります。ただし、分配を行う当ファンドについては、分配可能な金額は期中収益のうち、配当等収益、場合によっては実現した純譲渡益であり、かかる収益を超えて分配金が支払われることはありません。また、分配金の水準は、必ずしも分配期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

期中収益を超えて支払われる場合(米ドル建てのクラスの場合)



※上記は期中収益を超えて分配金が支払われた場合のイメージであり(ただし、当ファンドの分配金が配当等収益や実現した純譲渡益を超えて支払われることはありません。)、実際の分配金額、受益証券1口当たり純資産価格や当ファンドの分配方針を示唆するものではありませんのでご注意ください。分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、分配可能な金額から支払われます。当ファンドの分配方針については、投資信託説明書(交付目論見書)の「分配方針」をご参照ください。

投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的に購入価額を下回って支払われる場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より受益証券1口当たりの純資産価格の値上がりが小さかった場合も同様です。

国内投資信託においては、分配金支払い後、受益証券1口当たり純資産価格が購入価額を下回る部分(実質的な個別元本の払戻し部分)は、非課税扱いとなります。これに対し、当ファンドのような外国投資信託においては、分配金支払い後、受益証券1口当たり純資産価格が購入価額を下回る部分についても、購入価額を上回る部分と同様、課税対象となります。



(注) 分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「課税上の取扱い」をご参照下さい。

※上記は分配金支払い後、受益証券1口当たり純資産価格が投資家の購入価額を下回る場合のイメージであり、実際の分配金額、受益証券1口当たり純資産価格や当ファンドの分配方針を示唆するものではありませんのでご注意ください。当ファンドの分配方針については、投資信託説明書(交付目論見書)の「分配方針」をご参照ください。



## リスクについて

投資信託のお申込みに際しては、投資信託説明書(交付目論見書)等をよくお読みになり、契約内容およびリスク・手数料等をご理解いただいたうえで、お客様ご自身の判断と責任においてお取引ください。

ジャナス・セレクション各サブファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンドの各サブファンド(以下、「アンダーライニング・ファンド」)への投資を通して様々な証券に投資するため、1口当たりの純資産価格が変動し、取得時の価格を下回る場合もあります。従って、ジャナス・セレクション各サブファンドへの投資は、下記のようなリスクが伴います。なお、ジャナス・セレクションのリスクは下記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)に記載する「投資リスク」を十分お読みください。

### 当ファンド(ジャナス・セレクション)の主なリスク

#### 証券に投資することのリスク

当ファンド各サブファンドまたは各アンダーライニング・ファンドが、その投資目的を達成するという保証はありません。異なる国の企業および政府により発行された異なる通貨建ての証券への投資には一定のリスクがあり、受益証券の価格の下落という結果につながる場合があります。当ファンドの投資元本は保証されているものではなく、受益証券1口当たり純資産価格の下落により、投資元本を割り込む可能性があります。これらの運用または為替相場の変動による損益は、すべて投資家に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

#### 為替リスク

当ファンド各サブファンドの米ドル建てクラス受益証券の価格は、アンダーライニング・ファンドが米ドル以外の通貨建ての証券または通貨を保有する場合、米ドル以外の通貨価値の変動による影響を受ける可能性があります。

#### 過度または短期の取引

当ファンド各サブファンドへの投資は長期的な投資を目的としています。投資家による過度または短期の取引は、ポートフォリオ投資戦略を混乱させ、費用を増加させ、また他のすべての投資家の投資収益に悪影響を与える可能性があります。

管理会社は、事前の通知なく、またいかなる理由であっても、そのようなおそれのある購入申込み(スイッチングを含む)を拒否することができます。

#### その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

### アンダーライニング・ファンドの主なリスク

#### A. 一般的な投資リスク

##### ハイイールド証券に関するリスク

アンダーライニング・ファンドには、投資対象の最低格付基準が定められていないため、主要な格付機関により投資適格未滿とされた証券に投資する場合があります。この場合の投資は、高い格付を有する証券に対する投資と比べ、一般的に発行体の金利および元本の支払能力(すなわち信用リスク)に左右され、より高い信用リスクを有するため、高い格付の証券への投資よりも投機的な投資であり、債務不履行の可能性が高いと考えられます。発行体が債務不履行となった場合、投資家は大きな損失を被る可能性があります。

##### 流動性リスク

アンダーライニング・ファンドが投資する市場の中には、世界の主要な株式市場に比べ、流動性が低く変動性が高い市場があるため、受益証券の価格が大きく変動することがあります。一定の証券は、売り手が売却したいと考える時点の時価で売却することが困難または不可能な場合があります。

##### 小型証券に関連するリスク

小規模または新しい企業の証券は、大規模または歴史の古い企業の証券よりも、大きな損失を被る可能性があります。

##### 投資の集中に関するリスク

アンダーライニング・ファンドの中には、他のファンドと比べて分散性に欠けるものがあります。アンダーライニング・ファンドの投資が集中することにより、ある特定の投資の価値が下落した場合、またはその他の悪影響を受けた場合に、相対的に大きな損害を被る可能性が高まります。

#### B. 特定のアンダーライニング・ファンドに関するリスク

##### REITおよび不動産関連企業に関するリスク

##### 該当ファンド ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド

エクイティREITおよびその他の不動産関連企業の株価は、REITまたは不動産関連企業が資産として保有する不動産評価額の変動ならびに資本市場および金利の変化による影響を受けます。モーゲージREITおよびその他の不動産関連企業の株価は、その供与する貸付の質、保有するモーゲージの信用価値およびモーゲージの担保となる不動産評価額による影響を受けます。

ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンドのアンダーライニング・ファンドは不動産に直接投資しませんが、主に不動産関連の企業に投資する方針のため、証券市場関連リスクに加えて、不動産を直接所有する場合と同様のリスクがあります。

ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンドのアンダーライニング・ファンドが投資することがある特化型のREITまたは不動産関連企業は、ホテル、療養施設、倉庫等の特定の不動産分野の成長性悪化に関連するリスクがある場合があります。

##### 金利リスクおよび信用リスク

##### 該当ファンド

ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド、ジャナス・ハイイールド・ファンド、ジャナス・バランス・ファンド、ジャナス・ストラテジック・バリュー・ファンド、ジャナス・フォーティ・ファンド、ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド

上掲ファンドのアンダーライニング・ファンドの投資先に債券が含まれている場合、そのパフォーマンスは主に金利リスク(金利の変動に対応してポートフォリオの価値が変動するリスク)および信用リスク(発行体が期日までに元本および利子を支払えないリスク)に左右されます。

お申込みメモ

|           |  |
|-----------|--|
| 運用開始日     | 2001年11月27日<br>(ただし、ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンドの運用開始日は2003年9月30日)   |
| 信託期間      | 原則として無期限 (2001年7月31日設定)  |
| 決算日       | 原則として毎年12月31日  |
| 分配方針      | ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンドは、原則として四半期に一度分配を行います。ただし、将来の分配金の支払いおよびその金額を保証するものではありません。その他のサブファンドにおいて、原則として分配は行いません。                     |
| 購入受付      | 原則として、取扱日 <sup>(注1)</sup> の午後3時(日本時間)までとなります。当該受付時間を過ぎた場合は、翌取扱日の受付になります。ただし、販売会社または販売取扱会社によっては、受付時間が異なる場合、または受付が行われない日がある場合があります。  |
| 購入価格      | 原則として、購入申込みを受領したファンド営業日 <sup>(注2)</sup> に計算される受益証券1口当たりの純資産価格となります。  |
| 購入単位      | 販売会社または販売取扱会社によって異なります。  |
| 換金(買戻し)受付 | 原則として、取扱日 <sup>(注1)</sup> の午後3時(日本時間)までとなります。当該受付時間を過ぎた場合は、翌取扱日の受付になります。ただし、販売会社または販売取扱会社によっては、受付時間が異なる場合、または受付が行われない日がある場合があります。  |
| 換金(買戻し)価格 | 原則として、換金(買戻し)請求を受領したファンド営業日 <sup>(注2)</sup> に計算される受益証券1口当たりの純資産価格となります。  |
| 換金(買戻し)単位 | 販売会社または販売取扱会社によって異なります。  |
| 換金(買戻し)代金 | 販売会社または販売取扱会社が換金(買戻し)請求を受け付けた日から起算して10取扱日 <sup>(注1)</sup> 以内に換金(買戻し)代金が支払われます。<br>※原則として当ファンドの各サブファンドの各クラス受益証券の通貨で支払われます。          |
| スイッチング    | 販売会社または販売取扱会社によっては取扱いがない場合があります。   |
| 課税関係      | 日本の課税上は、公募外国株式投資信託として取り扱われます。ただし、この取扱いについては税務当局により判断が示されておらず、これと異なる取扱いとなる可能性もあります。また、将来における税制等の変更または税務当局の判断により、この取扱いが変更されることがあります。 |
| その他       | ご投資にあたっては、「外国証券取引口座」が必要です。詳細は、販売会社または販売取扱会社にお問い合わせください。  |

上記の詳細は、販売会社または販売取扱会社によって取扱いが異なりますので、各販売会社または販売取扱会社にお問い合わせください。

(注1) 取扱日とは、ファンド営業日で、かつ販売会社または販売取扱会社の営業日(取扱除外日を除きます。)をいいます。

(注2) ファンド営業日とは、ニューヨーク証券取引所の営業日をいいます。ただし、12月26日、27日、28日のいずれかのうちアイルランドの銀行が休業日とされる日を除きます。なお、投資顧問会社が管理事務代行会社・管理会社・保管受託会社の同意を得て決定した日を含みます。

ジャナス・セレクション各サブファンドに係る費用

お客様に直接ご負担いただく費用

| クラスA受益証券   |  |
|------------|--|
| 申込手数料      | サブファンドごとに、3.30%(税込)*を上限として、販売会社または販売取扱会社がそれぞれ定める料率となります。 |
| 換金(買戻し)手数料 | 原則としてかかりません。   |

\*上記は当資料作成時点の税率に基づくものです。なお、税法が改正された場合には、税率等が変更される場合があります。

お客様に間接的にご負担いただく費用

| クラスA受益証券                 | 管理報酬等*  |  |
|--------------------------|---------|--|
| ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド    | 年率1.20% | * 管理報酬等は該当するサブファンドの純資産総額に対し、左記の料率を上限として計算されます。管理報酬等には、管理会社報酬、受益者サービス報酬、代行協会員報酬のほか、アンダーライニング・ファンドの資産から支払われる投資顧問報酬ならびにその他報酬および費用等も含まれます。 |
| ジャナス・ハイイールド・ファンド         | 年率1.55% |  |
| ジャナス・バランス・ファンド           | 年率1.85% |  |
| ジャナス・ストラテジック・バリュー・ファンド   | 年率1.98% |  |
| ジャナス・フォーティ・ファンド          | 年率1.98% |  |
| ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド | 年率1.98% |  |

● その他の手数料等

① 保管受託会社の報酬

保管受託会社としての業務の対価として、1サブファンドあたり年額7,500米ドルの報酬が支払われます。また、ファンドカस्टディサービス業務の対価として、各サブファンドの純資産総額の年率0.002%、および証券取引毎に15米ドルの報酬が、該当するサブファンドの資産から支払われます。

② 管理事務代行会社の報酬

ファンド管理、会計および当ファンドに関連するサービスの対価として、1サブファンドあたり年額24,000米ドル(上限)の合計額相当の報酬が当ファンドの資産から支払われます。当該報酬は、各サブファンドの純資産総額に応じて比例配分されます。

③ 名義書換代理人の報酬

投資家サービス業務および名義書換業務の対価として、1受益証券クラスにつき年額325ユーロおよび現地口座1名義につき年額45ユーロの業務費、ならびに取引毎に15ユーロ(上限)のその他の費用が支払われます。

④ その他費用

ブローカー費用および銀行費用、監査人および弁護士費用、年次報告書・半期報告書・目論見書・申請書類等の印刷費用ならびに配布費用等が、当ファンドのサブファンドの資産から別途支払われます。

⑤ アンダーライニング・ファンドの費用

アンダーライニング・ファンドの管理事務代行会社の報酬、保管受託会社の報酬またはアンダーライニング・ファンドの設立、運用について発生したその他の費用が実費ベースでアンダーライニング・ファンドの資産から支払われます。

上記手数料、報酬および費用等は、それぞれ算出方法が異なるほか、投資家の皆様がサブファンドを保有される期間に応じて異なるため、これらを合計した料率もしくは上限等を表示することができません。  
詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

管理会社およびその他の関係法人等

- 管理会社: ヘンダーソン・マネジメント・エスエー
- 投資顧問会社: ジャナス・キャピタル・インターナショナル・リミテッド
- 保管受託会社: J.P. モルガン・バンク(アイルランド)ピーエルシー
- 管理事務代行会社: J.P. モルガン・アドミニストレーション・サービス(アイルランド)リミテッド
- 名義書換代理人: インターナショナル・ファイナンシャル・データ・サービス(アイルランド)リミテッド
- 代行協会員: SMBC日興証券株式会社
- 販売会社および販売取扱会社: 「販売会社および販売取扱会社一覧」をご参照ください。
- アンダーライニング・ファンドの副投資顧問会社: ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー  
パーキンス・インベストメント・マネジメント・エルエルシー\*  
ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ(シンガポール)・リミテッド\*\*  
ヘンダーソン・グローバル・インベスターズ・リミテッド\*\*  
\* ジャナス・ヘンダーソン・USストラテジック・バリュエーション・ファンドのみ  
\*\*ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リアルエステート・ファンドのみ

当ファンドに関する注記

当ファンドはEUの環境的に持続可能な経済活動に係る基準に基づいた運用は行っておりません。ESGに関する調査分析は運用会社の運用力に重要な影響を及ぼす可能性がある要因の一つですが、当ファンドの運用目標は、持続可能性リスクへの対応を最大限ポートフォリオに反映させることではありません。また、ESG要因が明瞭に当ファンドのリターンに寄与するとは限りません。

本資料に関する留意事項

当資料は、ヘンダーソン・マネジメント・エスエーが作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。ジャナス・セレクション各受益証券の取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社または販売取扱会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ジャナス・セレクション各サブファンドに関するより詳細な情報を含む投資信託説明書(請求目論見書)が必要である場合は、販売会社または販売取扱会社までご請求ください。

なお、請求を行った場合には、投資者の皆様がその旨記録しておくこととされていますので、ご注意ください。

- 各サブファンドの受益証券の価格は、サブファンドおよびアンダーライニング・ファンドに組み入れられる有価証券の値動きのほか、為替変動による影響を受けませんが、これらの運用または為替相場の変動による損益は、すべて投資者の皆様にご帰属します。
- 投資信託は銀行預金ではなく、預金保険制度の対象ではなく、元本・利回りの保証はありません。
- また、登録金融機関の取扱う投資信託は、投資者保護基金制度の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容・数値・図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社および販売取扱会社一覧

| (五十音順)   | ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド | ジャナス・ハイイールド・ファンド | ジャナス・バランス・ファンド | ジャナス・ストラテジック・バリュエーション・ファンド | ジャナス・フォーティ・ファンド | ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド |
|--|-----------------------|------------------|----------------|----------------------------|-----------------|--------------------------|
| 株式会社SMBC信託銀行<br>登録金融機関 関東財務局長(登金)第653号<br>日本証券業協会/一般社団法人投資信託協会/<br>一般社団法人日本投資顧問業協会/<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会        | ○                     | ○                | ○              | ○                          | ○               | ○                        |
| SMBC日興証券株式会社*<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号<br>日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/<br>一般社団法人金融先物取引業協会/<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | ○                     | ○                | ○              | ○                          | ○               | ○                        |
| 株式会社SBI証券<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号<br>日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会                           | ○                     | ○                | ○              | ○                          | ○               | ○                        |
| クレディ・スイス証券株式会社*<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第66号<br>日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/<br>一般社団法人金融先物取引業協会/<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | ○                     | ○                | ○              | ○                          | ○               | ○                        |
| 株式会社新生銀行<br>登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号<br>日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会   | ○                     | ○                | ○              | ○                          | ○               | ○                        |
| ソニー銀行株式会社<br>登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号<br>日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会                            | ○                     | ○                | ○              | ○                          | ○               | ○                        |
| 東海東京証券株式会社<br>金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号<br>日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会                         |                       |                  |                | ○                          |                 |                          |
| 西日本シティIT証券株式会社<br>金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号<br>日本証券業協会  |                       |                  |                | ○                          |                 |                          |
| ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・<br>バンキング・コーポレーション・リミテッド*<br>登録金融機関 関東財務局長(登金)第105号<br>日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会                  | ○                     | ○                |                |                            |                 |                          |

\* 購入のお申込みは受付けていません。

今後、上記の販売会社および販売取扱会社は変更になる可能性があります。また、販売会社または販売取扱会社によっては上記以外のファンドを取り扱う場合があります。詳細は各販売会社または販売取扱会社にお問い合わせ下さい。